令和７年度　北海道札幌あいの里高等支援学校 学校経営方針

学校教育目標

Go for your Dream　夢のためにベストを尽くす

～今の自分を超え、より高みをめざそう～

未　来　／　チャレンジ　／　感　謝

目指す学校像

生徒の夢や希望により添い、その実現に向け共に歩む学校
保護者や地域のニーズや期待に応え、貢献する学校
教職員が専門性を発揮し、創造的な教育活動を行う学校

目指す生徒像

○　自分の持つ力や特性、得手や限界などを知り、考えを整理し、自己選択・自己決定できる生徒
○　相手の多様な考えや感情が分かり、互いを尊重し、認め合える生徒
○　学校や社会における自らの役割を自覚し、社会に貢献する喜びを感じられる生徒

目指す教職員像

○　北海道こども基本条例に基づいた生徒の人権を尊重した指導・支援を行う教職員
○　学校の教育活動を通して、生徒の主体的な学びを支える教職員
○　学校に関係する全ての人の「Well-being」を目指す教職員

Well-being の実現

ポジティブな感情

希望や歓喜・感謝・笑い・誇り・思いやり等の感情の育成が、ネガティブな感情を打ち消し、回復力や対処力を高められる。

達成や完遂の経験

目標のために努力し物事を達成することは、幸福感を高める重要な要素であり、達成は人生における誇りにつながり、ポジティブな感情の源泉となる。

好きなことに没頭

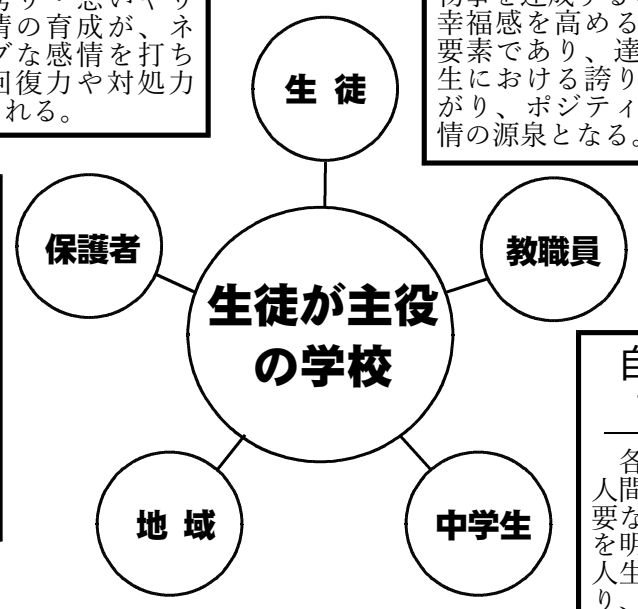
好きなことに没頭することにより、強みが発揮され、「フローの心理状態」を体験することにつながり、幸福度が上昇しストレスが軽減される。

自分の行いの意味や意義

各個人の価値観など人間の本質に関わる重要な要素であり、目的を明確にすることで、人生の満足度が高くなり、物事に価値を見いだし、追い求めていく姿勢が養われる。

良好な人間関係

「他者に愛され評価されること」「家族、仲間や友人と良好な人間関係を構築すること」は、人生に幸福をもたらし、身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的に良好で満たされている状態となる。



教育方針

1　生徒の学習に取り組める環境を整備するとともに、登校が継続したり、登校に向けた継続的な働き掛けをしたりするなど、安全で安心な居場所としてのセーフティネットとしての役割を果たす。
2　生徒の認知の特性やこれまでの学びや経験など教育的ニーズに応じた合理的配慮を踏まえ、合意形成が図られた個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づいた指導・支援が行われるようにする。
3　生徒自らが自分に必要な力が何であるかを知り、主体的に学びに向かう意欲を育てるようにする。
4　課題に対して、自らが持つ知識や技能、思考力や判断力、表現力を活用することで、適切に対処していく力を身に付く学習指導を行う。
5　生徒一人一人の可能性を最大限引き出し、将来の自立や社会参加、社会貢献のために、生徒の自己指導能力の育成を育む生徒指導の充実を図る。
6　生徒のキャリア発達を高めるため、地域や企業等に学び、地域と共にある教育活動等の経験を通して、自己効力感を高める指導の充実を図る。
7　身体的・精神的に健康で安全な生活を営む基礎を培うための保健教育、安全教育の充実を図る。
8　生徒が生涯にわたって健やかに生きていくことができるよう、食習慣、栄養バランス、安全や品質及び地域の食文化の理解など、食に関する指導の充実を図る。

経営方針

1　教職員相互の尊厳、信頼、協力により、各組織・部門が機能的に情報を共有し、適切なＨＲ経営、学習指導、生徒指導、進路指導、保健指導等、必要な支援の充実に向けて、連帯した校務を推進する。
2　教育課程検討委員会を中心に、生徒のLife-stageに準拠した教育課程を編成し、検証に基づいた改善・充実を図る。
3　地域と共に歩む教育の推進のため、地域の資源を活用した学習活動を地域・保護者との連携を基に進める。
4　安全で安定した教育活動のための学習環境の整備や危機管理体制の充実を図る。
5　中学校に対し、教育相談や授業参観等を通して、本校の教育内容を丁寧に伝え、中学生が主体的に進路選択を行うために必要な情報提供に一層努める。
6　教職員一人一人が、それぞれの能力や専門性を発揮し、教育活動と運営活動を推進するため、地域連携研修等を活用するなどして、自身の専門的力量、資質の向上を図ることができるような研修に取り組む。
7　充実した教育活動が行われるよう学校運営及び学習活動において、学校予算及び団体会計が計画的かつ効率的に執行されるよう努める。

令和７年度の重　点

生徒は学ぶ主体　／　**地域と共に歩む**

○　授業が分かり、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間をすごしつつ、生きる力を身に付ける授業づくりをする。

○　地域の人たちが生徒をコミュニティの一員として認め、生徒一人一人が地域のメンバーであることを実感、自覚できる教育活動を行う。

教育目標	○　授業において、生徒が主体的に学ぶ状況づくりを追求する。 ・実体験の重視、五感で感じる授業、具体的な活動を通して経験が学びとなり、課題を適切に解決できる力の育成する。 ・積極的に地域資源を活用し、生徒の達成感・成就感を養い、自己肯定感を高める活動を行う。 ・各指導の形態の単元や題材を有機的に関連させ、それぞれの学習内容や活動の価値化・意義化を図り、生徒が何のために学ぶのかが分かる授業を設計・改善する。 ○　学びの安全、生活の安全が保障され、自らを見つめ、自らを律せるような自己指導力の育成を図る。
経営目標	○　Afterコロナにおける教育活動を再構築するため、これまでの取組を精査し、改善・工夫をする。 ・地域と共に歩む教育活動の推進のための教育課程を再編する。 ・生徒が自分たちの地域(相手)を理解した教育活動を行い、地域と共に歩む学校づくりを推進する。 ・あいcircleを持続的な取組とするための運営組織を構築する。 ○　生徒が主体の開校10周年の取組や事業を推進する。 ○　学習活動や教育実習等における大学生の受入れ及び学校が担う次世代の教員育成の在り方を探る。 ○　効果的な業務運営を推進するため、運営組織の編成を検討する。